

Unity Connection 単一受信トレイ メッセージが Microsoft Exchange ジャーナル機能によって記録されない

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Exchange が Cisco Unity Connection と同期している場合に、Exchanged Web Service (EWS) であるメッセージを記録しないという問題について説明し、その問題の解決方法を示します。

問題

Cisco Unity Connection と同期しているときに、単一の受信ボックス メッセージが Exchange のジャーナル機能で記録されません。

解決策 1

推奨される回避策を次に示します。ジャーナル機能で記録する必要のある Unity Connection からのメッセージを受信するには、Exchange に個別のメールボックスを作成します。次に、このメールボックスにメッセージを追加でリレーするアカウントを設定します。このリレーによって、メッセージを Simple Mail Transport Protocol (SMTP) 配信にすることができます。これにより、記録できるメッセージ タイプにメッセージが分類されます。

1. Exchange メッセージの個々のコピーを受信するには、Exchange 上に固有のメールボックスを作成します。
2. Smarthost アドレスを使用して Unity Connection を設定します。 [Unity Connection Admin] Web ページで、 [System Settings] > [SMTP Configuration] > [Smart Host] に移動します。 Unity Connection からメッセージを受け入れ、リレーする Exchange IP アドレスまたはホスト名を入力します。
3. 各ユーザに移動し、 [Message Actions] を選択してリレーを設定します。 [User] > <特定

ユーザ>> [Edit] > [Message Actions] > [Voicemail] に移動し、[Accept and Relay the Message] を選択します。 [Relay Address] フィールドに、作成した Exchange ジャーナル メールボックスを入力します。

注: メッセージ アクション機能では、それぞれのユーザのメールボックスにアクセスせずに、複数のユーザを一括して編集できます。

シングル インボックス機能を使用すると、EWS がメールボックスと同期したメッセージをユーザが引き続き受信でき、メッセージ アクション SMTP では、作成したメールボックスにメッセージが配信されます。

注: シングル インボックス メッセージに関するジャーナル機能の問題は、EWS によって同期されることに関連しています。このメッセージは、Exchange での通常の配信キューを経由しないため、記録されません。したがって、Unity Connection の問題ではありません。

解決策 2

唯一の回避策は、これも前の手順に従い、各ユーザに対して Exchange にセカンダリ メールボックスを作成する方法です。次に、各ユーザのセカンダリ メールボックスにリレーするようメッセージ アクション機能を設定する必要があります。これは EWS Synchronization (シングル インボックス) および SMTP リレーを同じ Exchange メールボックスで処理できないために必要になります。

EWS 同期メッセージを記録するように Exchange を設定する方法については、Microsoft にお問い合わせください。